矢巾町国土強靱化地域計画（案）に対するパブリックコメントへの回答

指摘箇所 (反映先)	意見	検討結果	提出元
第3章 (P5、資料)	本計画の中に、本町に関係した過去の主な災害に対する検証結果（現象、対応、成果、課題、将来対策など）を示す必要があると考えます。なぜなら、町民をはじめとする関係者が本計画を読み解き、いざというときに適切に行動するためには、本町における災害の特徴についても理解しておかなければならないからです。	ご意見に基づき、巻末に「資料」として「第3章 地域特性と想定するリスク 第2 想定するリスク」関係として、想定にあたり参考とした資料等について、記載しました。	パブリックコメント
第6章 (資料)	「第6章 重点施策」に示された項目は、その選択理由が「影響の大きさ・・・平時の活用等の視点から・・・」と抽象的な表現になっています。しかし、これでは真意が伝わってきません。そのため、丁寧に誰にでも分かるよう具体的に理由を示す必要があると考えます。	ご意見に基づき、巻末に「資料」として「起きてはならない事態毎の脆弱性評価結果」として、現状と手段の関係性を整理し、記載しました。	パブリックコメント
第6章 (P37～P48、資料)	「第6章 重点施策」に示された指標（現状→目標値）の目標値はこの計画の肝でもあり、その値の妥当性を明確にしておく必要があります。そのため、次の2項目を丁寧に説明することが不可欠であると考えます。 ①目標値として設定した数値は中間値（暫定値）なのか？ また、その数値の設定はどのような理由（根拠）によるものか？ ②目標として設定した数値が中間値（暫定値）であるとするのであれば、その項目の最終目標値はどのような数値を想定しているのか？また、その値の想定はどのような理由（根拠）によるものか。	ご意見に基づき、巻末に「資料」として「起きてはならない事態毎の脆弱性評価結果」として、現状と手段の関係性を整理し記載のうえ、目標値の性質について、「第6章 重点施策」に備考として、記載しました。	パブリックコメント